

MBDによる組込み制御ソフトウェアの開発

セミナー概要

ライトレーサの制御器（マイコン）のソフトウェアの開発にモデルベース開発（MBD）手法を適用します。V字プロセスの設計工程において、MILSによるシミュレーション検証を行うことにより、検証工程の手戻りが減ることも実習を通して実践できます。また、マイコンに組み込む量産Cコードも自動生成させるなど、開発プロセス全体でモデルを利用して開発を進めるMBD手法を習得します。

講義内容

セミナー内容

1. モデルベース開発の概要

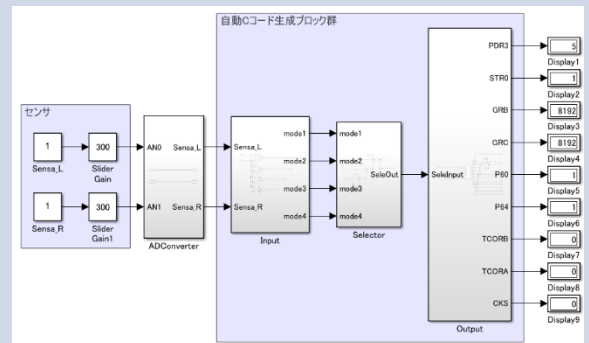
(1) MILS (2) RCP (3) SILS (4) PILS
(5) ACG (6) HILS

2. ブロックプログラミング

3. MBDによる自動Cコード生成

4. 総合実習

(1) ライトレーサの仕様
(2) 制御器のブロックプログラム設計
(3) 自動Cコード生成とターゲットマイコンへの実装



案内

コース番号：E7322 「MBDによる組込み制御ソフトウェアの開発
〈ライトレーサ編〉」

日程 令和5年 6月15日（木）～ 16日（金） 2日間

時間 9：15～16：15

会場 ポリテクセンター中部
(小牧市下末1636-2)

受講料 12,500円

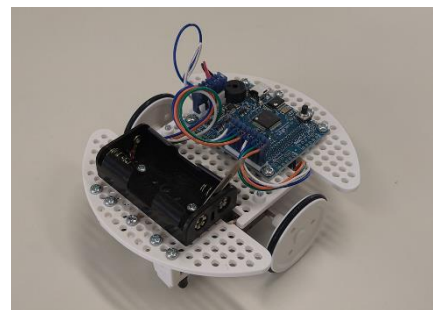
定員 10名

使用機器等

制御系設計支援ツール（MATLAB/Simulink）

ライトレーサ（Beauto Rover H8）

統合開発環境（HEW）



お申込み／お問い合わせは

ポリテクセンター中部

○企画指導部企画課

TEL：0568-79-0555 FAX：0568-47-0678

E-Mail：chubu@chubu-center.ac.jp